

令和6年度事業計画書

[1] 学術講演会・研究会および講習会等の開催事業（公益目的事業1）

1. 学術講演会の開催

- ・第120回学術講演会 令和6年11月7日、8日

場 所 中部大学春日井キャンパス（愛知県春日井市）

参加予定者数 約600名

2. 特別シンポジウムの開催

- ・第27回特別シンポジウムを行う。

[テーマ：未定]

開催日 未定

場 所 未定

- ・ブロックイベントを行う。

[テーマ：未定]

開催日 未定

場 所 未定

3. 公開講演会

- ・令和6年度公開シンポジウムを行う。

テーマ「健康と食」

開催日 令和6年6月7日

場 所 銀座ブロッサム中央会館（東京都中央区）

内 容 「健康な食生活とヘルスリテラシー」

吉池信男（青森県立保健大学）

「食中毒と食品添加物と食品衛生」

五十君静信（東京農業大学）

参加予定者数 約200名

4. 関連学（協）会との連携および協力

- ・日本食品衛生学会・日本食品微生物学会・日本食品化学学会主催

「ifia JAPAN 2024 食の安全・科学フォーラム 第23回セミナー」

を下記のとおり行う。

開催日 令和6年5月22日

場 所 東京ビックサイト

内 容 弁当・総菜の安全性

- ・関連学会等との共催、協賛および後援を行う

〔2〕学会誌等の発行（公益目的事業2）

- ・学会誌等を下記のとおり発行する。

食品衛生学雑誌（6冊）	第65巻2号～6号	各発行部数	1,700部
	第66巻1号	発行部数	1,750部
食品・食品添加物等規格基準（抄）		発行部数	500部
第120回学術講演会要旨集		発行部数	900部

〔3〕研究業績に対する表彰事業（公益目的事業3）

- ・令和6年度日本食品衛生学会賞等授賞式を第120回学術講演会において下記の受賞者に対して行う。

「学術貢献賞受賞者」

近藤一成（昭和女子大学）「遺伝子組換え食品およびゲノム編集食品と植物性自然毒等に関する食品衛生学的研究」

登田美桜（国立医薬品食品衛生研究所）「自然毒およびヒスタミンによる食中毒の発生動向に関する情報研究」

「奨励賞受賞者」

佐々木隆宏（東京都健康安全研究センター）「食品中の亜硝酸根および硝酸根の分析法開発と改良」

増本直子（国立医薬品食品衛生研究所）「既存添加物の品質確保のための基礎研究」

- ・食品衛生学雑誌第64巻論文賞授賞式を第120回学術講演会において下記の受賞者に対して行う。

「呈色反応によるツキヨタケの簡易鑑別法開発 <ノート>」第64巻第3号 p. 108～110 篠原 秀幸* 河原龍馬 長岡 由香 山形県衛生研究所

「カロリーメトリー法を用いたマッシュポテト中における *Bacillus cereus* の最大比増殖速度測定と増殖予測モデルの作成<報文>」第64巻第6号 p. 200～205 外川理絵¹ 金川怜美¹ 福本沙弥¹ Fia NOVIYANTI² 細谷幸恵² 小泉大輔¹ 庵原啓司¹ 下平 潤¹ 川崎 晋*¹ マルハニチロ(株)中央研究所¹ (国研)農研機構 食品研究部門

「5,6-ジヒドロチミジンを指標とした植物性乾燥食品の照射履歴の検知 <ノート>」第64巻第6号 p. 206～213 福井直樹*¹ 藤原拓也^{1,2} 古田雅一² 高取 聡¹ (地独)大阪健康安全基盤研究所¹ (公)大阪公立大学研究推進機構放射線研究センター²

〔4〕若手研究者育成事業（公益目的事業4）

- ・令和6年度厚生労働科学研究（食品の安全確保推進研究事業）の若手研究者育成事業の公募に応募し採用された場合、補助事業者として若手研究者を採用する。

〔5〕その他

- ・会員の相互扶助事業については令和2年度から事業を開始し、下記の内容で実施する。
 1. 会員限定「学術小集会：FHS コミュニティ」
年数回の開催を目標とする。
 2. 会員限定のメルマガを配信する。月1回配信
 3. 論文作成に関する相談会を開催する。

〔6〕総会・理事会の開催

- ・令和6年度総会を下記のとおり行う。

開催日 令和6年6月7日

場 所 日本橋公会堂（東京都中央区）

議 案 令和5年度事業報告および同決算報告
令和6年度理事の承認

- ・4月、10月、2月に理事会を行う。